



FIBA バスケットボールワールドカップについて



HISTORY OF FIBA BASKETBALL WORLD CUP - 大会の歴史 -

「FIBA バスケットボールワールドカップ」は、国際バスケットボール連盟 (FIBA) が開催する、最高峰のバスケットボールの世界大会です。1950年から2010年まで「FIBA 世界選手権」とされてきましたが、その後、現在の「FIBA バスケットボールワールドカップ」という大会名称になりました。1950年にアルゼンチンで開催された第1回大会では、開催国のアルゼンチンが決勝でアメリカと対戦し、勝利を収めました。10チームが戦ったブエノスアイレスでの第1回大会以来、参加国は増え続け、2019年大会では過去最高の32カ国の代表チームが参加する規模となりました。第1回の1950年大会から、約4年に1回開催されてきたこの大会は、2023年に第19回目を迎えます。過去大会ではシャキール・オニール、パウ・ガソルやケビン・デュラントなどの世界的なスターたちが出場しており、世界最高峰の選手が集まる大会となっています。

日本・沖縄での2023年開催について

2023年のFIBAバスケットボールワールドカップは、FIBA史上初の3カ国の開催となり、フィリピン、インドネシア、日本の3カ国開催となります。

日本で行われる沖縄グループフェーズでは、2023年8月25日(金)～9月3日(日)の10日間で8チームが20試合を行います。

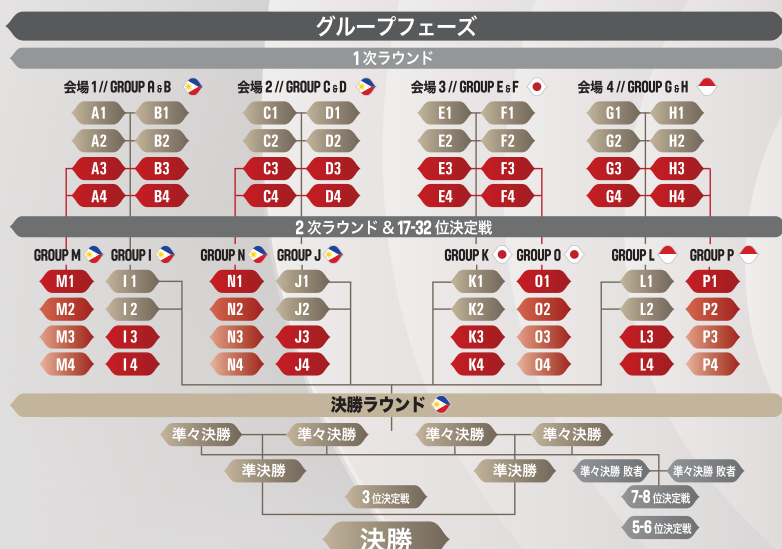
FIBAバスケットボールワールドカップ2023大会の仕組み

グループフェーズは3カ国(フィリピン、インドネシア、日本)で開催。

グループフェーズを勝ち抜いた8カ国で行われる決勝ラウンドは、フィリピンで開催されます。



※出場予定選手



LOGO MARK - 大会ロゴ -

大会ロゴのデザインは、「ハート」「ネイスミストロフィー」「2023年」の3つの要素に由来しています。横向きのハートはバスケットボールへの情熱を象徴し、その中心に優勝チームに贈られるネイスミストロフィーを配置しました。ハートに模した数字の「23」は、大会史上初めての3カ国共同開催となる、歴史的なワールドカップイヤーを表しています。また、各開催都市のランドマークをイメージしたホストシティロゴが作成され、日本の会場となる沖縄のホストシティロゴは、2019年に残念ながら火災により焼失した「首里城正殿」をモチーフとしています。





FIBA
BASKETBALL
WORLD CUP
QUALIFIERS



この夏、 日本の バスケットが熱い。

1年後の沖縄開催に向けた大一番!!

FIBA バスケットボールワールドカップ 2023
アジア地区予選 WINDOW4

03 **8月下旬**
開催予定

沖縄アリーナ
(沖縄県沖縄市)



日本代表 VS カザフスタン代表

FIBA ワールドランキング 38 位

FIBA ワールドランキング 68 位





INTERVIEW

笠原 健太 KENNY KASAHARA

FIBA バスケットボールワールドカップ 2023
日本組織委員会副事務局長

TATSUKI SUGIYAMA 杉山 達基

日本バスケットボール協会
競技運営グループ運営セクションマネージャー



KENNY KASAHARA

TATSUKI SUGIYAMA

2023年8月に行われる、FIBA バスケットボールワールドカップ 2023。

FIBA バスケットボールワールドカップ (以下、W杯) としての初めての3カ国開催となり、フィリピン、インドネシアと日本の会場はここ、沖縄となる。沖縄ステージは、沖縄アリーナで予選を勝ち抜いた全出場32チーム中、8チームが全10日間で20試合を繰り広げる。

このW杯本選出場権をかけた予選が今年の8月に沖縄アリーナで開催されることが決定した。今回、FIBA バスケットボールワールドカップ 2023 日本組織委員会の副事務局長を務める笠原健太さんと、予選大会の運営指揮を取る日本バスケットボール協会、競技運営グループ運営セクションマネージャーの杉山達基さんの2名にお話を伺った。

まずは、W杯の沖縄開催について、期待や思いをお聞かせください。

笠原健太：FIBA バスケットボールワールドカップ 2023 日本組織委員会副事務局長 (以下、笠原氏) … 4年に一度の世界大会で1950年から続いている歴史ある大会であり、それを日本で開催できること、さらに世界に誇れる沖縄アリーナで開催できることはバスケット界、そして、沖縄県にとっても意義あることだと思っています。この大会を通じてバスケットボールの楽しさはもちろん、沖縄の魅力も併せて発信しなければと考えています。世界規模のイベントを沖縄県でできることはなかなかないことだと思いますので、沖縄県や沖縄市の皆様と一緒にイベントを盛り上げて、良い大会を作っていければと考えています。

大会まで1年になりました。今後の取り組みをお聞かせください。

笠原氏：今年の8月25日です。今年、一年前にあたり、先月には、沖縄アリーナでW杯予選大会を実施予定でしたが、先月、沖縄こども国で公式スコットのお披露目会を実施させていただきました。本大会の1年前イベントを実施するなど機運醸成を積極的に実施し、W杯を沖縄の皆様に身近に感じてもらうようにしていきたいと考えています。沖縄市内でも1年前イベントを開催する予定です。是非、皆様にも参加いただきたいですね。

今年の8月に開催されるW杯の予選大会は、どのような大会でしょうか。

また沖縄市で開催する意義についてもお聞かせください。

杉山達基：競技運営グループ運営セクションマネージャー (以下、杉山氏) … 現在、アジア地区予選の1次ラウンドが終了しましたが、1次ラウンドの4グループ全16チームのうち、各グループ上位3チームの全12チームが勝ち上がり、今回の2次ラウンドとなるWindow 4に進出します。ワールドカップに出場できるのは、日本の所属するアジア地区 (オセアニア地区を含む) では全16チーム中8チームで、うち日本とフィリピンの2カ国がホスト国格として出場を既に獲得しています。

予選は1次ラウンド (W1 W3)、2次ラウンド (W4 W6) と2回のラウンドに分けて2021年2月から2023年の3月まで行われます。2次ラウンドは、試合を重ねるにつれ、ワールドカップ本選に近づき、どの試合も各国にとってより、負けられない戦いとして白熱した試合になると思います。

開催する意義につきましては、先ほど笠原からもありましたが、ちょうどW杯の1年前の予選大会になるのでW杯と同じ会場での公式戦を行えることは運営側としても、非常に有意義だと思います。また、沖縄県の皆様に広く大会を知っていただくことのできる良い機会になると思っておりますので、W4がW杯の機運醸成に繋がるように務めていきたいと考えています。

W4の見どころをお聞かせください。

杉山氏：先ほど、日本代表は出場国中でW杯の出場は決定しているとお話させていただきましたが、この予選はアジアの強豪国と闘い、強化を実施できる貴重な機会となります。BリーグもトップリーグですがW4においては、世界トップレベルの選手達が国を挙げて体を張ったプレーが見ることができると、また、一味違った盛り上がりを感じることができると思います。また、日本代表選手には琉球ゴールデンキングスの選手も入る可能性もありますし、沖縄の皆さんには、キングスの選手や他の日本代表選手、世界中のトップ選手のハイレベルな世界屈指のプレーを楽しんでほしいです。

トッププレイヤーを間近で観るという子ども達への影響は、どのようなお話を伺っていますか。

杉山氏：バスケットボール選手は大きい選手が多いので、子ども達の印象には非常に強く残ると思います。W杯においては様々な地域や国から選手が来ますので、今まで見ることが出来なかった選手を間近で見ることができると、ぜひ会場で試合を見て、楽しんで頂けたらと思います。

また、世界のハイレベルなプレーを見ることで、子供達のバスケット熱が高まり、プロバスケットボール選手を目指す夢を持っていたことももちろん、そうなくてもファンとして、あるいは運営組織のなかに入つてなど、いろいろな形で今後必ずバスケットに関わり、応援してもらえようになると嬉しそうですね。そのために、私たちも、W4やW杯本番を生かして、ボランティアや学校への訪問授業など、いろいろな形でバスケットボールに関わっていただきつつ、ついでに聞いています。

最後になりますが、W4及びW杯成功に向けた意気込みをお願いします。

杉山氏：沖縄から全国にW4を皮切りにW杯の機運醸成を図っていきたく考えております。沖縄市の皆様にはW4と一緒に盛り上げていただき、是非、沖縄アリーナで世界のバスケットボールを生で体感してもらえたらと思います。来年にはさらにパワーアップしたW杯がありますので、大いに期待していただくとともに、その魅力を沖縄県内の皆様と共有していただくことでJBAの理念の「バスケットで日本を元気に」に繋がっていきたく考えています。

笠原氏：W杯を通じて、沖縄を盛り上げていきたいと思います。みなさん、是非、大会を盛り上げてください。

今回は、予選と本選両方の視点から、沖縄開催のW杯について、笠原氏、杉山氏にお話を伺った。今後、8月の大会1年前イベントやW4を経て、本番である2023年の大会を迎える。2023年の大会ではボランティアなど、試合を観戦する以外の多くの関わり方があろう。沖縄市内の盛り上がりや、レガシーにつながることを期待したい。

